

もっと「同友会大田支部」を知ろう！ 参加しよう！

NEWS

おおた の同友

OTA
NO
DOYU

2022年度
第41回

大田支部 総会開催



大田支部中期活動ビジョン

すべての会員企業に経営指針を!!
～科学性・社会性・人間性を磨こう～

2022年4月14日、大田支部総会が蒲田の大田区産業プラザPioとZoomオンラインで開催されました。

アフターコロナに向け、安全に配慮しながら活発な活動をおこなっていく予定です。

会員一同、新たな気持ちで同友会活動を行なってまいります。新年度も何卒よろしくお願ひいたします。

大田支部Instagramをフォローしよう！



おおたの同友 112号（2022年5月発行）

大田支部からの
お知らせ

大田支部会員数は
183名
(期首182名)です。

広報委員会

広報委員会：島村亮
(株式会社ルミナス)

平林正樹(順天堂大学)

郷家由佳(アクアカンパニー)

広報委員長：針谷周作
(コトノハ株式会社)

発行:一般社団法人
東京中小企業家同友会大田支部

2022年度 大田支部活動方針

支部長 島村 亮氏 (株式会社ルミナス・代表取締役)



第40期 (2021年度)

活動総括 (正副支部長会)

振り返れば支部活動においては様々な会員企業様のご尽力があり、依然として続くコロナ禍にあっても年間を通じて安定した活動を継続し、いろいろな形で学びをいただけましたこと、まずは厚く御礼申し上げます。会員増強を掲げておりますことに対しても、微増ということでありましたが、行動規制やその他制限が続く中にあって少しでも共に学ぶ仲間が増えたことは大きな意味があったと感じております。また、11月に行われた21サミットも無事執り行わられ、実行委員長選出支部として何とか面目

を保ちました。(笑)1月の賀詞交歓会では新旧会員様が交流の折、『だいぶ若い人も増えたね』といった声もいただき、支部活動のさらなる活性化に向けて準備万端といった感じです。正副支部長会では大田支部全体の活動について、時には中心になって活動をけん引しながらも見守り、サポートを行って参りました。この1年の反省点をふまえ、

●支部例会のさらなる充実を図るべく力を注ぎたい。

●会員個々の仲間づくりのサポートができるような具体的行動を起こしたい。

という次なる課題も見てまいりました。

次年度も引き続き『人のやる気に蓋をしない支部運営』この言葉とともにメンバーを変更することなく職責を果たしてまいります。

第41期 (2022年度)

大田支部活動方針

今年度の大田支部では支部例会を通して、企業の科学性・社会性・人間性について

てクローズアップして参ります。優れた会員企業の経営体験や各部会・勉強会の中から自社の改善に具体的に役立つヒントを探ります。

参考

科学性：科学的裏づけがあること

社会性：社会的責任が伴うこと

人間性：社員の人格を尊重すること

活動目標

1.会員数200名体制を目指していきます。

2.会内の活性化をさらにすすめます。

①個々の仲間づくりのサポート

②部会参加者を増やす

③中心メンバーの充足をはかる

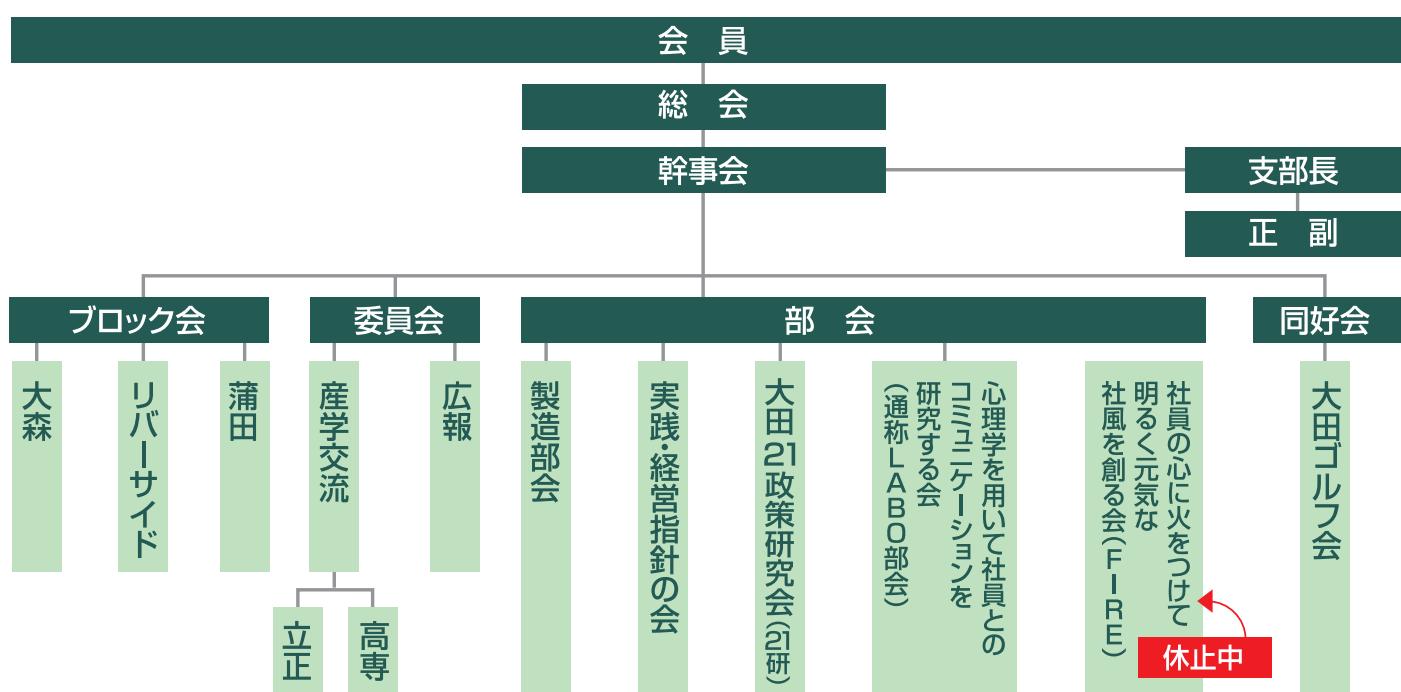
3.支部例会に力を注ぎます。

①例会参加者を増やす

②例会準備を確実に進める

③例会では学びのまとめを座長が必ずする(活動方針)

以上の目標に向かって皆さんとともに創意工夫をしながらさらにすばらしい同友会にしていきたいと思いますので、宜しくご指導ください。



2022年度活動方針

部会

→ 製造部会

昨
年
度

よかつた点

- 定期的に開催が出来た事。
- 多様なテーマで開催出来た事。

困った点

- コロナで会社見学が出来ない
- 打ち合わせとは異なる内容の話が本番で飛び出した。
- ITの話が難解な所が多々あった。

2022年度 計画案

4月：経営発表 ムソー工業 尾針社長
6月：世話人会
7月：大田支部 7月例会担当
8月：外部講演

改善案

- ・事前打ち合わせを密に、発表前に内容確認を行う。(プレゼン資料確認)
- ・コロナ収束後には工場見学ありで出来るよう打診する。
- ・世話人会メンバーを中心に偏りが無いテーマを検討する。



渡辺 大氏

(株式会社芝橋・代表取締役)

9月：外部講演
10月：経営発表 芝橋 渡辺社長
12月：忘年会
2-3月：工場見学会

※2023年度へ向けて製造部会長交代を進める

→ LABO部会

(心理学を用いて社員とのコミュニケーションを研究する会)

岡野 亜希子 氏 (社会産業教育研究所・代表)



2021年度の活動内容について

部会長岡野の事情により、2021年度の活動全てをスピノフ企画として実施。2020年に続き、4月～10月までは、オンライン(ZOOM)、11月より会場で開催した。(但、9月は休み)

2022年度計画案

「他」つまり、他世代・他社など様々な文化的背景を持った人のコミュニケーションを取るための方法を研究していく。また、今まで通り心理学の視点を加え、実習を交えつつ、参加した方が、自社・自身で取り入れてみることもできる内容として開催することを目指す。その結果、社内のジェネレーションギャップを良くするヒントやツールを得る場として活動していきたい。

→ 社員の心に火をつけて明るく元気な社風をつくる会 (FIRE部会)

新井 哲雄 氏 (株式会社アートビース・代表取締役)



2021年度の活動内容について

ミッション

- 優れた企業文化を創り、職場をワクワク元気にする!
- ビジョン参加した企業がまわりから憧れられる
(退職者の軽減とリファラル採用ができる企業)

バリュー

- 素直な心で学び成長し続ける。学びを即行動に移し、実践の中で活用する。
- どうすれば経営者が従業員と繋がり、企业文化を構築できるのか学び、それを日々の実務の中で落とし込む。

バリューの策定

その中の気づき、学びを共有し合える場を設けることにより、意志力だけでは続かないことも、環境(仲間と一緒に)を整えることで持続的に学びを深めることができる。現在、コロナ禍につき、各社の社員様を集めての運動会や連続セミナーを開催することが難しい状況がつづいており、Fireの活動自体を2022年より一旦休止。

→ 実践・経営指針の会

稻田 裕 氏 (株式会社稻田財務・代表取締役)



2021年度の活動内容について

部会長として2年目となる指針の会では新たに2名の常任メンバーの参加により講義の内容に厚みを持たせることができた。具体的に言えば、理念と実践の両方での研修は内容が広く浅くなってしまうため、実践(特に経営数字)に重きを置き、素晴らしいことを言ってはいるが会社の業績が伴っていないということにならないよう学びと発表ができる会を目指すこととした。

2022年度計画案

平井氏、志賀氏、稻田のローテーションで運営する新たな常任メンバーを2名ほど募る。参加者を増やすべく、「論語と算盤」で「算盤」の部分も同じくらい大切だということをいかにお知らせできるか、その方法も考えていきたい。

→ 大田21政策研究会(21研)

21研代表世話人 佐々木正勝氏(三笠総合保険・代表)



2021年度の活動内容について

- 月一回の定例世話人会の開催。実践出来ました。目標達成!
- 4半期毎勉強会の開催、5月リバーサイド扱とした勉強会含め年5回開催。目標達成
- 他団体との交流目標に掲げた内、「日本政策金融公庫」まと勉強会開催。一部目標達成。

2022年度計画案

- 月一回の定例世話人会の開催継続。
- 隔月毎勉強会の開催。
- 他団体との交流推進。世話人の増強…その他、昨年提出工程表ご参照。

ブロック会

→ 大森ブロック会

赤澤大三郎氏(株式会社MSネット・代表取締役)



2021年度の活動内容について

- 毎月最終火曜日に基本開催。本年度も、10回開催予定。1月現在で8回の開催。
- 参加企業の近況報告と経営談義を肴に楽しく「下駄ばき交流会」を実施。
- 5月24日、稻田財務・稻田氏の立正大学経営特論のプレ講義を実施

2022年度計画案

- 毎月最終火曜日(10回 / 年開催予定)の「下駄ばき交流会」を開催
- 立正大学経営特論の「プレ講義」を実施する

→ リバーサイドブロック会

佐々木正勝氏(三笠総合保険・代表)



2021年度の活動内容について

- 皆様のご協力のおかげで、単独1回、共催1回合計2回の例会開催できました。
- 何とか、年末年始会兼ブロック会開催出来ました。

2022年度計画案

- 応分の活動再開。4月よりブロック会毎月定例開催をめざす。
- 担当例会を、こなす。…大田支部会員の経営体験例会したい処。…とにかく継続する所存。みな様のご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

→ 蒲田ブロック会

小川琢弘氏(株式会社think shiftコンサルタント)



同好会

→ 大田ゴルフ会

安藤日出男氏(羽田運輸株式会社・代表取締役)

2021年度の活動内容について

開催日程

- | | |
|-------------------|-------|
| 4月24日 東千葉カントリークラブ | 参加14名 |
| 7月7日 千葉夷隅ゴルフクラブ | 参加16名 |
| 10月21日 中山カントリークラブ | 参加11名 |

→ 立正大学产学交流委員会

元木和洋氏(株式会社イノベーションワーキングカンパニー・代表取締役社長)



2021年度の活動内容について

2021年もコロナの猛威の中、皆様のご協力の元、歴史ある立正大学との産学交流「経営総合特論講座」を開催できました。ありがとうございました。開催はコロナの猛威の中、初のzoomによるリモート開催となりました。長い歴史の中で初めての試みとなり、至らない点もありましたが、無事に開催できました。本当にありがとうございました。

2022年度計画案

経営総合特論講座プレ報告会の開催予定…11月の第3木曜日
秋季の大学祭について…コロナ禍が落ちていればぜひ開催したいの思
いはあるが現状開催未定。

→ 都立高専産学交流委員会

田中基茂氏(有限会社グローバルコミュニケーション・代表取締役)



2021年度の活動内容について

- 活動報告…コロナ禍を超え、新時代の連携の課題を模索し、次の一步を意識した年
- 中小企業家経営塾(国語表現法II)、インターンシップ会社説明会の再開、大連学生海外派遣は引き続き中止
- 学校と大田支部による《産学連携委員会》の定着、課題を設定して運営。サイバーセキュリティ

と情報分野新カリキュラムを結びつけて意見交換。この議論を製造部会に引き継ぐ(モノリスワークス／吉村氏例会)。

学校と同友会の組織的調整機能として《産学連携委員会》を運営していくあり方が見え始める。ほか

2022年度計画案

- 引き続き《産学連携委員会》の運営を軸に、連携の課題の共有、レベルアップを
- 中小企業家経営塾(国語表現法II)は、新年度より進路選択をひかえた4年生の授業として拡充。
- インターンシップ中小企業家経営塾と結び、在学5年間での学生のキャリアデザインの積み上げ的支援を!
- 次世代の担い手(学生)達の発意、創意と結びつく学習の場の提供と新しい連携基盤の形成
- 同友会の内外を結び、産業都市の公共機能として産学連携を発展させる産学連携地域プラットホームの拡充
- 同友会の内外を結ぶ都立高専交流委員会の組織のあり方の検証

→ 広報委員会

針谷周作氏(コトノハ株式会社・代表取締役)



2021年度の活動内容について

本年度は広報誌「おおたの同友」を4号発行し、新たにインスタグラムを開始しました。「おおたの同友」はおかげさまで多くの会員より原稿をいただき、誌面も充実しました。ページ数を増やし掲載をスタートした「おおたの経営者列伝」も好評をいただきました。

2022年度計画案

おおたの同友を2021年度同様、年4回発行する。インスタグラムを充実させ、フォロワーを増やし、会員増強の支えになれば。

おおたの経営者列伝

Story of a Owner
in Ota-ward

其の
5
羽田運輸株式会社
代表取締役会長
安藤 日出男



安藤日出男会長近影

社員があつて、
お客様がある

会社概要

Company Overview

1956年(昭和31年)に設立された、航空機エンジン・部品等の精密機器輸送、国際航空貨物運送、一般貨物運送事業会社。従業員は、2022年4月現在で100名。2022年4月に長男のタ太氏が3代目の社長に就任。<https://www.haneun.co.jp/>

入社

安藤は横浜市立大学商学部在学中から、長期の休みになると家業の運送業を手伝っていた。卒業してすぐに家業に入った。当時は人手不足で自分も親も「家を継ぐのが当たり前」だと思っていたから、入社してからは運転手も営業もやった。請求書の作成などの事務作業もこなした。車の運転は嫌いではなかったし、あの頃の中小企業はどこでもそんなものだったから苦にならなかった。そんな「現場経験」が後年、大いに役立った。

大学を出てからは「資格を取ろう!」と専門学校に通い、3年かけて税理士試験に合格した。妻とはそこで出会い、税理士の登録と同時に結婚をした。ちなみに妻は、現在も税理士として活躍中である。

社長に

安藤が入社した当時の羽田運輸は、従業員が30人にも満たない会社だった。安藤は5人兄弟の長男で、本社の統轄を担当した。弟3人もそれぞれ営業所長など「うまい具合に」配属されて、兄弟4人が力を合わせてやってきた。ところが1983年(昭和58年)、先代社長であった父親が66歳の若さで逝去。安藤は37歳で社長を引き継ぐことになった。しかしこれまで一人で何役もこなしてきたので、「実務面で困ったということはなかった」。

厳しい時代

バブル経済が弾けた当時は売り上げ

が減ったお客様と逆に増えたお客様があり、「うまい具合に乗り越えることができた」。運もあった。「これだけ事業を長く続けられるのは、もちろんみんなの努力もあるけど、運もないと続けてこれない。これは間違いないですよ」と安藤は言う。

リーマンショックの時は、JALが経営破綻した。「売上がガクッと下がって、赤字がドッ」と出た。3年くらいのうちに、何とかようやく元に戻ってきた。

当時も確かに苦しかったが、今回のコロナショックはそれ以上だ。急激に航空需要が落ち、国際線に関するお土産品の運搬や関連部署の業務が「ブワッと縮小」して売上が3割減少。いまだに回復しない。「社長になってから38年経つが、今が一番きつい」と言う。主な固定費である人件費が重荷になっているが、「それを削減するわけにはいかない」。むしろアフターコロナを見据えて、今でも人材募集をしている。「人材への投資」と「社内体制の整備」は、これからも継続していく方針である。

安全教育

「運送屋さんは安全教育しかない」と安藤は言う。トラックにドライブレコーダーやデジタルタコグラフ(デジタコ)、デジタルメーターを付けて、車がどういう動きをしているか、燃費を把握してスピードを出し過ぎないような安全装置にも投資をして、いろいろなチェックをしている。デジタコの結果によって3カ月に1回、運転手さんを表彰している。アルコールチェック、免許証のチェックも目視では勘違

経営理念	社員行動指針
【1】私たちは、航空機エンジン・部品等の精密機器輸送のハイオニアとして、人材の育成と品質の向上に努めます。	【1】ハッキリとした元気な挨拶を心掛けます。
【2】私たちは、お客様に信頼され満足される安全・迅速な輸送サービスを提供します。	【2】省エネ運転とアイドリングストップの実践により燃料の節約と排気ガスの削減に努めます。
【3】私たちは、地球環境に優しい諸活動を通じて地域社会に貢献します。	【3】お客様への感謝の心を忘れずに、輸送のプロフェッショナルとして技術確実と安全運行を励行し、安全・確実に荷物を運びます。
【4】私たちは、事業を通じて社員並びに関係する全ての人の幸せを追求します。	【4】常に清潔な服装と身だしなみを心掛けます。

経営基本方針
【1】航空機エンジン・部品等の精密機器輸送のスペシャリストとして社員の技術と品質の向上を図り、お客様が満足する空港内運送ナンバーワン企業を目指します。
【2】法令及びその精神を遵守し、事故防止に努め、地域社会に信頼される企業を目指します。
【3】環境マネジメント・システムに基づき、技術的、経済的に可能な範囲で環境目標、目的を定めて、環境保全活動の推進を図ります。
【4】高品質・ローコスト・オンリーワンを目指した強い企業体質の実現に努めます。
【5】社員の自主性・自立性を尊重し、やりがいのある職場作りを目指します。

平成21年4月1日
羽田運輸株式会社
代表取締役 安藤日出男

玄関に貼ってある「経営理念」

おおたの経営者列伝

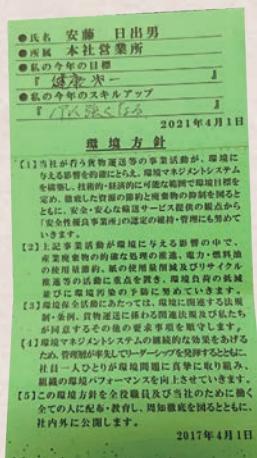
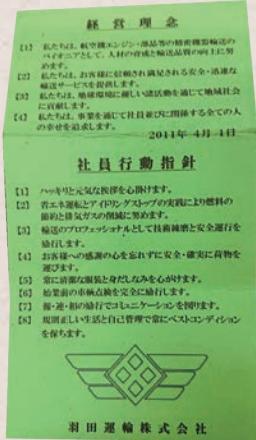
Story of a Owner
in Ota-ward

羽田運輸株式会社

代表取締役会長

安藤

日出男



全社員が携帯する「ポケットカード」

いもあるので、コンピュータ化した。

地域の活動にも力を入れている。車庫の前が通学路になっており、子どもたちが通学で通るときには車庫の前で運転手さんが旗を持って朝の誘導を何十年にもわたり続けている。

社内体制の整備

昔は、仕事の受注から運転手さんの配車まで、本社の事務所の中で「みんなでワーウー言いながら」やっていた。「小さな運送屋」だった時代はそれではよかつたが、これからの時代はそうはいかない。車庫に「配車センター」を創設して受注窓口である営業部門を移すことによって、365日お客様のサービスにあたる体制を整えた。本社は総務関係とお客様とのコミュニケーション窓口に専念することにした。時代の変化に適応すべく、運転手さんへの「紙の指示書」も電子化が進んでいる。「私なんかもうLINEだなんだと笑ってもちょっとまだね…。ついていけないんだよね」と笑う。安藤のポケットカードの「私の今年のスキルアップ」欄には、「ITに強くなる」と書かれている。

安藤は言う。「我々の商売は、お客様

に対するサービスをどう拡充するかですからね。まだまだ過渡期ですけど、お客様にとって便利な会社が一番いいわけですね」。顧客志向の社内体制整備に、終わりはない。

同友会への参加

安藤が54歳の時に、胃に癌が見つかった。そんな時に、知り合いの経営者から「勉強する会があるから、同友会に入らないか」とたまたま声を掛けられた。それで一度顔を出したところ、社長たちが活発に議論していた。「これは面白そうじゃないか」ということで、2001年に入会した。「経営指針の会」に入り、経営理念をつくった。経営理念と行動指針が印刷されたポケットカードを作り、「今年の目標」を書き込めるようにして毎年4月に全社員に配布している。

「地域に根差した交流会の中では、同友会が最も勉強をしている経営者の集まりだ」と感じている。特に異業種の皆さんの話を聴き、意見を交わすことが刺激になっている。2002年にISO14001を取得する際には、製造業の経営者がISO9000を取っていることで「私もやらなきゃいかん」と背中を押された。同友会メンバーの製造業の工場を見学させてもらって、「きちんとできているところはやっぱり素晴らしい」と感じた。建物は汚くても、工場の中は5Sできれいに整理整頓されている。表面ではなくて「システムがきっちりできている」ことが分かると、自社に応用した。これらも、一生懸命に同友会で勉強させてもらって知ったことだった。

「経営者は忙しい中でも敢えて時間を作り、異業種の経営者と交流をして切

磋琢磨すべきです。同友会の活動はほとんど夜だから、行く気になればできるはず。利害関係がないところも、同友会の良さですね」と安藤は言う。「でも、あまり高望みしちゃうと今度はできなくなっちゃうんで、少しずつね。身の丈に合った」。

後継者

4月からは長男の夕太に社長を、次男の賢次に常務を任せた。彼らには日々の業務の中で気づいたことは言ってきたが、本人が勉強しなければ身につかないと思っている。「次男は高校でまともに勉強もせず、なかなか親の言うことも聞かずに苦労をした」と言う。「それが今では兄貴よりもしっかりしてぐらいになつてんだから、不思議なもんですよ。大人になるとちゃんとやることはやるんだなど、感心してるんです」と安藤は目を細める。

次代を担う経営者の皆さんへ

社長を引き継いでからの38年は、あつという間だった。これからも「あそこに頼んでおけば大丈夫だね」というお客様から信用される会社を目指して、苦しい今の時期だからこそ人材への投資や社内体制の整備をして足元を固めているのだといふ。

「会社をよくしていこう」という気持ちがないと現状維持はおろか、会社も発展していくかない。一番はやっぱり、「社員があって、お客様がある」ということ。社員がいなければ、お客様がいても商売はできませんからね。これからは社員の待遇をどうよくしていくか。そういうことを続けていかないといけないです」と安藤は笑った。

(文中敬称略)



本社全景

取材・文責 順天堂大学国際教養学部特任教授 平林正樹

コロナ禍
の挑戦長野県渋温泉
『春蘭の宿さかえや』の挑戦

講演：湯本晴彦 氏（有限会社ホテルさかえや 代表取締役社長）

開催日：2022年4月14日（支部総会講演） 場所：大田区産業プラザPio

「一時廃業も考えた」と語るのは、『春蘭の宿さかえや』代表取締役の湯本晴彦氏。旅館甲子園で2度日本一に輝き、経済産業大臣賞の受賞、大手口コミサイトでの高評価など、好調だった経営は2020年4月、コロナ禍で大きなダメージを受ける。

5人の新入社員が内定していたにも関わらず、2か月間の完全休業を余儀なくされた。さらにタイミング悪く水道管が破裂し、館内が水浸しに。パソコンなどの機器が壊れ、じゅうたんも全て貼り直すこと。しかし、「コロナは耐えろ！ではなく、変われという合図」と捉えた。

この休業期間をもともと中長期計画にあった設備投資期間にあて、半露天付きセミスイートルーム「游」をオープン。さらに、スタッフには11社12業種に出ていてもらい、休業中を乗り切ることに。出向社員が塗装や建築、シロアリ駆除など、新たな技能を身につけてくれたおかげで、「メンテナンス・消毒」の新事業を立ち上げるという副産物も産むことになる。この新事業がテレビ番組で取り上げられ、大きな話題に。コロナ禍で落ち込んだ分をアフターコロナで取り戻すことができた。

コロナ禍は、「全員経営、全員営業」や、「共に何かをやり遂げることで深まる人間関係」という旅館甲子園出場でつかんだ理念を、浸透させる結果となった。ピンチをチャンスに変えることができたのは、ずっと目指してきた「社員と共に歩み、導いていく」という湯本氏の理念が実ったからこそだった。



レポート：広報委員会

濱口賞

田中基茂氏

（有限会社グローバルコミッション 代表取締役）



東京中小企業家同友会大田支部では4月支部総会にて、昨年度一番に同友会活動に取り組み会社を伸ばされた会員を、初代支部長・濱口氏の名を冠した「濱口賞」を授与にて表彰しています。総会の懇親会にて会員の投票により、田中基茂氏（有限会社グローバルコミッション 代表取締役）に決定いたしました。

経営者が
おすすめする本

株式会社河津建設 代表取締役

河津修平 社長より



推薦者

株式会社ホワイトホームズ
代表取締役社長

岩瀬邦明 氏

『ビジョナリーカンパニー 時代を超える生存の原則』

ジェームズ・C・コリンズ／ジェリー・L・ポラス 訳：山岡 洋一

（発行：日経BP出版センター）

ビジョナリーとは先見性や未来志向というような意味で、卓越した企業を調査した結果を本書にまとめてあります。

長期間にわたって卓越した企業であるには、イメージとは違う現実があります。

ビジョナリーカンパニーの共通点

- ・カリスマ的な経営者は必要ない
- ・基本的な価値観を重視している

- ・進歩への意欲が極めて強い
- ・社運を賭けた大胆な目標に挑む
- ・従業員にとって良い会社ではなく、会社に合う人材には良い会社で、合わない人材にとっては居心地の悪い会社
- ・挑戦して改善を繰り返す
- ・AとBの矛盾することを追求して追い求める

実践・経営
指針の会変革せざる
を得なかつた
たつた一人からの経営改善

報告者：新海宗昭 氏

（株友和建工 代表取締役）

開催日：2022年3月24日

会場：消費者生活センター

（実践・経営指針の会担当例会）

Zoomオンライン併設



3月例会報告者は東京同友会の府中調布支部長 新海宗昭氏（株友和建工）。新海社長の父上が創業された友和建工を引き継いだ新海宗昭氏は財務面を含め様々な課題に直面をしましたが、父が残してくれた会社と友和建工に縁あった入社してくれた職人そして信頼し仕事を依頼してくれる施工者のために奮闘をしてきました。同社では寮を完備し職人の生活面はもとより、悩みや課題にも全力で向き合っている新海社長の姿に、参加者が涙ぐむ場面もありました。よい会社・よい経営者・よりよい経営環境を目指す東京中小企業家同友会会員企業の経営者による経営体験報告はやはり自社経営に対しての勇気をいただけます。

卓越した企業にはカリスマ経営者はおらず、会社を基礎から作り続ける経営者が最終的に成功していると本書では紹介されており、具体的にわかりやすくまとめた一冊となっております。

私自身が経営者になったばかりで、イメージとは違う成功した企業の文化に衝撃を受けた一冊です。

衰退産業から成長産業への変革を目指して 「経営とお金の本音」

報告者

三和電氣株式會社

代表取締役社長

宮崎裕二氏

担当部会:製造部会

開催日:2022年3月15日(火)

会 場:大田区消費者生活セン



製造部会では3/15(火)に三和電気株式会社代表取締役社長 宮崎裕二氏の講演を行った。同社は創業89年の老舗フィラメント・コイルメーカーで宮崎社長は5代目。電球がフィラメントからLEDに変わる市場縮小局面では売上が年々減少する危機的状況下で事業変革に着手。応用技術で新市場の開拓や新たな収益柱を創出し「フィラメント・コイル屋」から「コアパーティ

カーハ大転換。また、「値決めは経営」に基づき
客先と腹を割った価格交渉による不採算製品の
黒字化やアメーバ経営の製造現場導入により
営業赤字体質からの脱却に成功。そこで変革の
手を緩めず中小企業から中堅企業への成長を目指して新卒採用や長期インターンシップ、高度シニア人材などをフル活用して現業の拡大と新規事業に着手。今や「100周年、100億円」のビジョンを掲げて社員さんと共にその実現に向けて踏み出している。宮崎社長の「利益も出ていない社長が話す理念は寝言である」という言葉が心に刺さった。講演後のグループ討論は3テーマからの選択式。私のグループは「自社の売上規模を10倍にしようと思ったら、この後、どのような投資と優先付けを行いますか?」を選択し討論。各社各様の構想が共有され、思考の枠を外す有意義な機会となった。

レポート：大島右京氏（フジコン株式会社 代表取締役社長）

国際ビジネス支援部会 4月例会レポート

脱炭素、CASEへ加速する自動車産業の未来図

わが国自動車メーカーの戦略と中小企業、ものづくり経営の課題

開催日:2022年4月19日(火)

講演者：中西孝樹氏

株式会社

ナカニシ自動車産業リサーチ 代表アナリスト

Profile |

1963年

卒。1994年以来、一貫して自動車産業調査に従事して、内外の証券会社、投資運用会社で活躍。米国 Institutional Investor(II)誌自動車セクターランキング、日経ヴェリタス人気アワードランキング自動車・自動車部品部門とともに2004年から2009年まで6年連続第1位を獲得。2013年に(株)ナカニシ自動車産業リサーチを設立し代表に就任。著作に『CASE革命 2030年の自動車産業』(自動車産業新常態)(共に日本経済新聞出版)他多数

いま自動車産業は、悩みを抱えている。日本政府が目標とする温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラル（脱炭素）と、デジタル化により、自動車にデジタル革命が必須となり、さらに米中の対立構造やウクライナ危機などから生まれる地政学的な変化や、アフターコロナによる移動の変化、台数減少などが予想される。

携帯電話やカメラは、その産業にデジタル革命が起こるのに7年を要すると言われているが、自動車産業は30年という長いスパンをかけ、新旧が混在しながら変化していく。自動運転、車のソフトウェア化、デジタル化。日本では、2030年までに燃費を1リッターあたり25.4kmに引き上げるという高い目標を掲げている。

今後大きな変化が求められる自動車産業。日本にフィットするエネルギー選択や技術革新、変化への対応力などを、トヨタだけに依存するのではなく、日本の自動車産業が一丸となって行っていく必要があるだろう。



レポート：広報委員会

同友会大田支部が主催するイベント情報は、